

勉強は楽しい！

指導課長 原口 雅也

25年程前になるだろうか。

2回目の小学校1年生を担当した。

入学式の翌朝、男の子が私に飛びつきながら、こう尋ねた。

「先生、いつから勉強が始まるの？」

勉強が始まるのが待ち遠しかったらしい。

(今日から少しずつ始めていくよ) 的なことを返すと、「やったあ」と飛び上がって喜んだ。その笑顔があまりに印象的で、今でも鮮明な記憶だ。

「勉強は嫌い！」

子供たちの多くはそう答える(だろう)。

でも、きっと、子供たちも初めから「勉強嫌い」だったわけではない。

現実社会(学校)の勉強が、少しずつ、少しずつ、そう思わせてきた……。

本来、「学ぶ」ことは楽しいはずだ。

知らなかったことを知る、分からなかったことが分かる、できなかったことができるようになる、疑問に思ったことを調べる、じっくり考えて自分の結論を出す、学んだことが実際に役立つ。

うれしくないはずがない。楽しくないはずがない。

それが原点だ。

現実社会(学校)の勉強が、少しずつ、少しずつ、そう思わせてきたのだとしたら、その責任は私たち教師にある。

理想論を語るつもりはない。

「学ぶ」ことにも、それなりに、意志の強さも求められるし、努力の積み重ねも求められる。

けれども、「学び」という行為の中にある本来の「楽しさ」に気付かせることができるのも、また、私たち教師なのである。

「学力の向上」は、きっとその先にある。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度の全国学力・学習状況調査の結果が以下のように公表されました。



小学6年	国語	算数	理科	中学3年	国語	数学	理科
全国(公立)	65.6%	63.2%	63.3%	全国(公立)	69.0%	51.4%	49.3%
鹿児島県	66%	63%	67%	鹿児島県	69%	47%	49%
比較(全国と県)	ほぼ同じ	ほぼ同じ	約+4%	比較(全国と県)	同じ	約-4%	ほぼ同じ

県は、「全体としては、着実に学力が定着してきた」と評価しています。

しかし、大隅地区は、小・中共に全教科で県平均よりも2～3%低く、「学力が定着し切れていない大変厳しい状況」が続いています。

初めて出題された特徴的な問題

国語	感想や意見を伝え合う活動を通し、自分の文章のよさを見付ける問題【小6】
数学	「箱ひげ図」からデータ分布の特徴を読み取る問題【中3】
理科	「課題を見いだす」という過程そのものを問う問題【小6】

授業改善 1Pointアドバイス④

調査問題を解いてみる

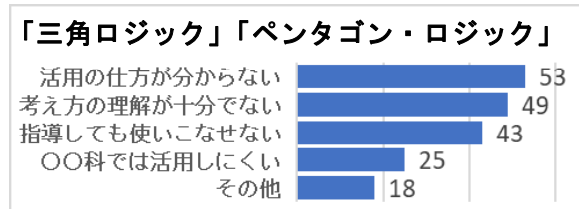
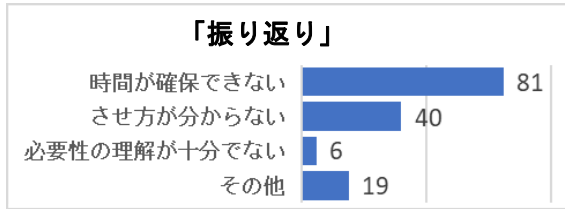
実際に、教師が調査問題を解いてみることで、「今、求められる学力」の具体が理解できます。

「私の日々の授業は、この調査問題が解ける力を身に付けさせているのだろうか？」を自分に問い掛けてみるのが、授業改善の第一歩です。(「初めて出題された特徴的な問題」も、ぜひ、解いてみてください。)

「オープンサポート教科フォーラム」に向けたアンケート結果から

「オープンサポート教科フォーラム」(R4.8.18実施)の事前アンケートに際しましては、たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。結果の一部を紹介します。

■ 「振り返り」と「三角ロジック」「ペンタゴン・ロジック」を実践するに当たり、課題だと感じていることは何ですか。(複数回答可)



毎月送付している「『わかった』『できた』を見届ける!参考資料」の大隅学力向上リーフレット解説では、課題解決のヒントを掲載しています。ぜひ、ご活用ください。また、「三角ロジック」では、ICTを用いた次のような活用方法もあります。



▶ ロイロノートシンキングツールにある「ピラミッドチャート」は、「三角ロジック」としても活用できます。右図のように、ピラミッドの左側に「事実・理由・主張」と書き、3点セットで考えます。自分の意見を論理的に考えたり、整理したりすることができます。

地区人権教育授業実践研修会

6月10日(金)に志布志市立香月小学校で開催し、志布志市内の小・中・高等学校及び地区内教育委員会等から38人が参加しました。

識字学級の存在を知ることで、現在もある差別問題の現実や差別の不合理性に気付くとともに、これから学ぶ歴史学習への意欲付けとなる授業展開でした。

※ 当日の学習指導案は、大隅教育事務所のホームページにありますので、ご覧ください。

昨年度は録画視聴でしたが、今回は別室でもリアルタイムで授業を映し、参加者を半数ずつ入れ替えて参観することができました。



【授業の様子】

大隅地区中学校道徳教育研修会



本年度は、曾於市立末吉中学校にて開催し、地区内の全中学校・義務教育学校から参加がありました。

【授業の様子】 末吉中学校では、学年担任を含む教師が交代で全学年を回って道徳の授業を実施しています。

また、豊かな「学び合い」を展開するために、「考え、議論する」場や振り返りにおける指導のポイントも共通実践しています。当日は、「道徳読み」の視点に基づく授業も展開されました。

各学校でも「道徳的諸価値」(価値理解・人間理解・他者理解)を児童生徒が実感できるように発問や学習展開を工夫していきましょう。

どう変わる? 生徒指導提要

文科省は、12年前に作られた教員向けの手引「生徒指導提要」を今回初めて改訂します。「生徒指導提要」は、生徒指導を行う上で、理論や実際の指導方法等を時代の変化に即して網羅的にまとめたものです。

8月に公表された改訂案から、主な変更点を3つ紹介します。



「校則の運用・見直し」についての加筆

校則見直しの手続き等を示すことが必要とし、学校や教育委員会の具体的な取組例を示した。

「不適切な指導」の具体例の提示

不適切な指導等が不登校や自殺のきっかけとなる場合もあるとして、その具体的な例を記載した。

「性的マイノリティー」についての対応の記載

生徒指導の観点からも人権意識の醸成が必要とし、性的マイノリティーの具体的な対応を記載した。

「子どもの権利」をより重視したものになる新しい生徒指導提要は、文科省ホームページにて、今後公開予定です。(現在は、「生徒指導提要の改訂案」が掲載されています。)